

はあとふる

Heartful 2004.10

地域の皆さんに、心(Heart)と技術(Hands)でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌



▲ デュエットも、チームも銀メダル



在宅介護支援センター 悠々亭・はびきのヴィゴラス
介護予防支援の取り組み

整形外科のまめ知識⑧
MRIの威力



アテネオリンピックシンクロナイズドスイミング▶

日本からの応援団は、水着と同じデザインのTシャツや浴衣を着て、日の丸のうちわや扇子を「阿波踊り」「武士道」に合わせて振り、日本をアピールしました。曲を作る人、ダンスの人、古式泳法の人、メイキャップの人、髪に塗るゼラチンを作る人、選手を育てた両親、そして選手とコーチの体に安心を与えた島田理事長、応援団も一つのチームでした。アテネの月は5日間の競技中に、三日月から上弦の月、さらにふくらみを増していました。



島田病院、八尾はあとふる病院は
『病院機能評価認定病院』です。

はあとふるグループ | 医療法人(財団)
社会福祉法人 永広会 はあとふる

「アテネオリンピックへ 行ってきました

島田永和 理事長

オリンピックは「スポーツの祭典」と言われます。趣向を凝らしたショーのような開会式はまさに「祭典」と呼ぶに相応しいものです。しかし、一方では、厳しい戦いの場でもあります。多くの国や地域からたくさんの選手が参加し、しのぎ合います。4年に一度の開催という制約は、勝負にさらなる条件を求めることになります。その時期に自分の力を最大とし、参加資格を獲得しなければなりません。この過程でも幾多のドラマが生まれます。そして、勝ち抜いた選手は国の代表として出場することになります。したがって、競技は所属する国と国との戦いともなります。各国の獲得メダル数は表にして報道され、応援が加熱していきます。

愛国心

オリンピックではごく自然に日本人であること、そして同胞である選手たちへの期待と慈しみを強く感じ、日本人選手やチームを応援します。日本人の出場する競技の客席では競技や選手の関係者だけでなく、一般の観戦の日本人も日の丸を振り、「ニッポン、ガンバレ」と連呼します。こうした一種の「愛国心」はどの国にも見られます。

私が観戦したシンクロナイズドスイミングの会場ではギリシャチームの演技には大勢のギリシャ人からの割れんばかりの応援が見事で、その迫力は脱帽ものでした。

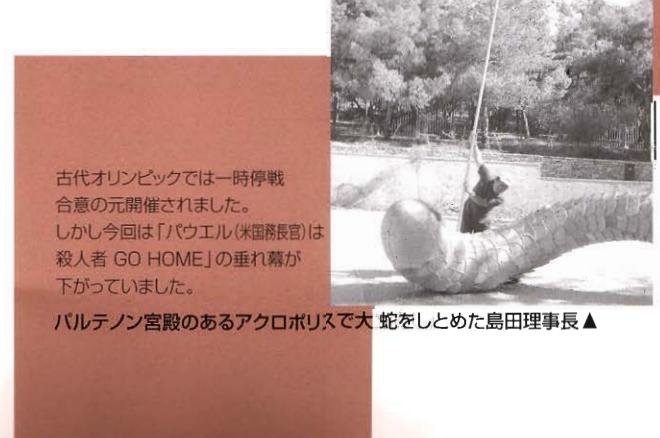
公正

シンクロ競技の最後はチームのフリーラーティンです。日本チームに精一杯の声援を送りました。テーマは「武士道」、気合いを入れるような小気味良いかけ声がテンポを盛り上げます。次がトップに立つロシアです。ハプニングが起こります。選手が次々と飛び込んで、音楽が止まります。会場は騒然となりますが、スタートからやり直しです。さすがに最初はいつもの切れ味がない演技でしたが、後半には迫力あるパフォーマンスを見せてくれました。息をのんで採点を待ちます。演技の完成度・難易度・同調性などを評価するテクニカルメリットで9.9以上が並びます。構成や音楽の使い方などの芸術性を問うアーティスティックインプレッションでは何と5人のジャッジ全員が10点を出しました。

体操やシンクロといった採点競技にはつき物の不明快さが後味の悪い印象を残します。しかし、選手たちの活躍を汚すものではありません。立派な銀メダルです。日本の文化を表に出したテーマや音楽は、西洋人の採点の強いインパクトにはならなかったと思われます。東洋的な文化がいくら受け入れられるようになったとはいえ、芸術性を比較する段階では、西洋と東洋にある絶対的な相違は埋めることができないと考える方が正しいのでしょうか。客観的な評価の難しさを痛感しました。

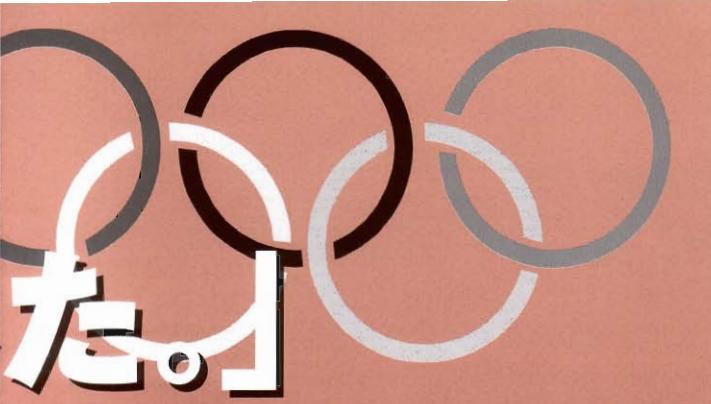
新しい世代

オリンピックは、自分自身、そして、自分の国「日本」を考える機会となりました。世界の、また日本の若者たちの躍動する姿を目に焼き付けました。新しい世代がどのような感性で活動し、どのような世界を作っていくのか、その時、自分のアイデンティティーをどう確立していく、さまざまな国の人たちとお付き合いをしていくのか、期待を持ちながら見守っていきたいと感じました。



古代オリンピックでは一時停戦
合意の元開催されました。
しかし今回は「ハウエル(米国務長官)は
殺人者 GO HOME」の垂れ幕が
下がっていました。

パルテノン宮殿のあるアクロポリスで大蛇をしとめた島田理事長▲



▲「島田先生、みんな泳ぎ切ることができたよ!」
チームの表彰式の後、プールサイドの選手に「おめでとう!!」と叫ぶと、
井村コーチの嬉しい声が返ってきました。



▲バスケット女子準決勝を観戦
隣の席の100キロを超すアメリカ人の男の子は、
アメリカのシュートに国旗を振っていました。
そして、相手ロシアチームのすばらしいシュート
ブロックにも小さく拍手していました。
国を愛し、スポーツを愛する男の子がいました。



ボランティア▶
禁止言葉ではなく「こうしてくれると嬉しいな、
どうもありがとう」と明るくホスピタリティに
充ち満ちていました。
病院でも家庭でも見習いたいと感じました。
「ギリシャ人はさぼってばかりで開催は無理と
米国はネガティブキャンペーンを張ったけど、
ちゃんとできました。あなたの見たアテネの
街やギリシャ人のことを日本で周りの人々に
伝えて欲しい」と自國に対する誇り・プライドを
感じさせました。

島田病院と はびきのヴィゴラスが 支援した

選手たちのオリンピック

三洋電機女子バドミントンチーム

●中山 智香子 選手

オリンピックのコートに立つまでに様々な事がありました。
コートに立つことが出来た嬉しさと試合に負けてしまった悔しさ
両方があります。

バドミントンの表彰式を見ましたが鳥肌が立ち、自然と涙が
出てくるほどの衝撃と感動でした。本当にオリンピックは「一生
の宝です」

選手生活ずっと島田病院の先生方にはお世話になりました。
有り難うございました。

●山田 青子 選手

オリンピックに出場できた事は貴重な経験となりました。
しかし、日本代表として出場しただけに、結果を残す事が出来
なかつたことが悔しいです。大会中は色々な方達に応援して頂
いて感謝しています。

今はまず一息ついて次に向けて新たなスタートを切りたいと思
います。今回のオリンピックは表彰台に昇る難しさ、素晴らしい
事を知ることが出来ました。自分も昇ることができるように頑
張りたいです。

●森 かおり 選手

4年に一度の大会ですから他の大会とは全く違い、今まで
に無く試合前は緊張しました。オリンピックに向け色々な経験
をした上で、コートに立てる喜びがあり、周りの方には本当に
感謝の気持ちで一杯です。ただ、今回は日本人選手の活躍が
多い中でバドミントンは結果を残せなかったので残念です。

※三洋電機女子バドミントンチームとメディカルアドバイ
ザーとして契約を結び、メディカルチェックからケガの
対応、体調管理やトレーニングなど選手の健康管理を
おこなっています。

トランポリン

●廣田 遥 選手

皆さんのあたたかい声援のおかげで目標の決勝進出をは
たすことができました。私が心からトランポリンを楽しいと
思ったように、これから皆さんに演技を通して夢と感動を与
えたいと思います。オリンピックで他の競技や選手からもらった
刺激を忘れずに、北京ではメダルを目指して日々練習に励み
ます。

※廣田選手が在席している阪南大学の学生達の健康管
理をおこなっています。廣田選手はケガをした時は島田
病院の診察を受けています。



▲「地域で開催された介護予防教室の様子」

介護予防支援の取り組み

在宅介護支援センター 悠々亭 相談員 永井 希美
Eudynamics
はびきのヴィゴラス トレーナー 大西 敏之

— 心身の機能をより長く維持するために。その人らしい生活を実現するために。 —

介護状態を予防する取り組み『介護予防支援』が全国的に注目されています。

今回は、在宅介護支援センター悠々亭と、はびきのヴィゴラスの介護予防の取り組みについてご紹介します。

一心身の機能をより長く維持するために。その人らしい生活を実現するために— 介護状態を予防する取り組み『介護予防支援』が全国的に注目されています。今回は、在宅介護支援センター悠々亭と、はびきのヴィゴラスでの介護予防の取り組みについて、ご紹介します。

羽曳野市にある8カ所の在宅介護支援センターでは、「すこやかお元気プラン」(介護状態を予防するための計画書)の作成、地域での介護予防教室の開催等を無料で行っています。



羽曳野市のすこやかお元気プランの特徴

- 1 在宅介護支援センターや、保健センターが「サポート(プランの作成・実行・見直しのお手伝い役)」となります。
- 2 サポート者が、お体の具合や生活状況を伺いながら、介護状態を予防するために気を付けることや、生きがいや希望を実現するための方法と一緒に考えます。
- 3 新しく「しなければいけないこと」ばかりを計画するものではなく、今の生活が介護予防につながっていることを一緒に確認することで、現状を維持し、サポートと協力しながら計画を継続することを目指すものです。



在宅介護支援センター 悠々亭が行っている介護予防教室

- 地域の老人会や、食事会に参加し、地域の方のご要望も聞きながら開催しています。
- 介護保険など福祉制度や痴呆症など、心の健康についてのお話しをしています。
- 保健センターや、ヴィゴラスの協力を得ながら、転倒予防体操なども行っています。

在宅介護支援センター 悠々亭では、現在3名の方のプランを作成し、サポートとしてお手伝いをさせて頂いたり、年15回程地域にて介護予防教室を行っています。全国的にも新しい取り組みであり、皆さんと一緒に、羽曳野市の介護予防をすすめていきたいと考えておりますので、ぜひお気軽にご相談下さい。

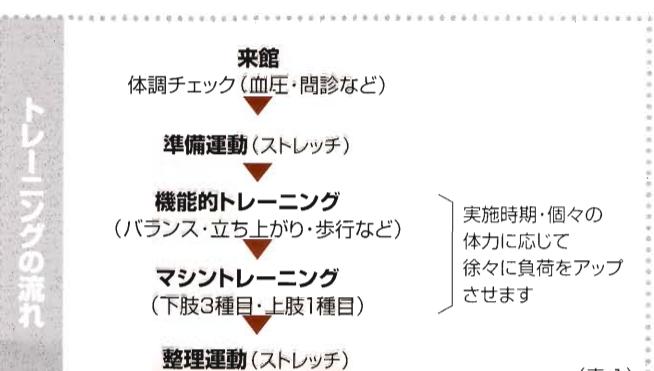
はびきのヴィゴラスでは、羽曳野市が今年度より実施(大阪府では初)している「介護予防筋力トレーニング」への指導者(トレーナー・理学療法士・看護師)派遣を行っています。この事業の目的は高齢者(特に虚弱高齢者)を対象に、年齢を重ねると共に起こる筋力の衰えなどによる身体機能の低下を改善することです。

トレーニング(表-1参照)の中心は高齢者用に開拓されたマシン(主に下肢筋力の強化)を利用して行われます。参加者の方達は「こんな機械見たことないわ。できるんかなあ? 無理ぢゃうか?」と最初は敬遠しがちです。しかし実際にやってみると「できるもんやな~」、「頑張ってやってみよう!」と変化してきます。またマシンだけでなく「立つ・座る・歩く」といった日常生活動作をよりスムーズに行うための機能的トレーニング(バランスや立ち上がり、歩行など)も実施しています。

これらのトレーニングを実施することで、日常生活動作を向上させ、その人らしい暮らしを維持していく事が可能になります。

最終的には、介護予防トレーニングにより要介護者の増加に歯止めがかかることが期待されています。

羽曳野市の取り組みのみならず、はびきのヴィゴラスでもトレーナーが高齢の方にも安全で、個人にあったトレーニングを作成し実施して頂いています。「高齢者に筋トレなんか…」と言われた時代はもう終わりです。年齢に関係なく筋力を維持していくことが大切です。



Topics トピックス

せっしょく えんげ

「摂食・嚥下リハビリテーションセミナー」開催報告

当日はウィークデイの月曜日、午後6時からの開催というスケジュールのなか、250名の方々に出席を賜りました。まず、最初にジョンズホプキンス大学のパーマー教授より「嚥下のリハビリテーション」について講演して頂きました。講演は実際の嚥下造影の画像を交えながら、正常例での命令嚥下（液体を口の中に保持し、合図に従って飲み込むこと）と咀嚼嚥下（食塊を噛んで、自由に飲み込むこと）の違い、嚥下障害例での口腔期、咽頭期、食道期の異常像について解説され、私たちが摂食・

嚥下障害を管理する上でどんなことに注意を払い治療目標をどのように設定したらよいかを教えて頂きました。

次にウィスコンシン医科大学のシャキア教授より「上部食道括約筋の生理と病理」について講演して頂きました。喉頭内視鏡の画像を用いて実際の食道入口部開大の様子が解説され、上部食道括約筋の解剖学的構造、神経支配、機能について詳細な説明がありました。咽頭残留のある場合の要因の考え方とシャキア訓練の有効性について教えて頂くことができました。

八尾はあとふる病院
リハビリテーション科医長 柴田 齊子



各講演ともにすぐに臨床に応用できる内容を含み、嚥下障害の治療に携わる方々にとって興味深い内容であったと思います。

ご多忙の中、多数のご参加を頂き誠にありがとうございました。

第9回 羽曳野・藤井寺地区ソーシャルワーカー(相談員)の集いを開催しました。

近隣の医療・福祉施設の相談員が2ヶ月に1度集まって様々な意見交換を行っています。

連絡事項から始まり各施設の動向を把握します。また、実際の相談活動についての発表を行って、専門的な機能を活用して『どういった支援ができるのか?』を活発な意見交換によって議論しています。

医療保険制度のみの体制から介護保険制度が創設され、それぞれの制度の中でも提供するサービスの機能分化が進んでいます。地域の方々が、医療や介護が必要になった時には、何が自分にとって最適なサービスなのか分かりにくくなっているとも言えます。そんな時、専門的な知識を持つ相談相手が必要ではないでしょうか?この地域の相談員は、より良い支援ができるように、近隣施設の専門性を理解し、活用できるネットワーク作りを目指しています。

ご相談やご質問がありましたら、お近くの在宅介護支援センター・病院・老健などの相談員までご連絡ください。

島田病院 地域連携課リーダー 嶋田 芳彦



平成16年8月18日の18:30～約2時間
「老人保健施設 悠々亭」で開催しました。

参加施設（合計14施設）

青山病院・島田病院・城山病院・高村病院・豊川病院
藤井寺市民病院・藤本病院・老人保健施設あつたか村
老人保健施設悠々亭・羽曳野特別養護老人ホーム
四天王寺悲田院・在宅介護支援センターゆうゆう亭
在宅介護支援センターあつたか村・大阪府社会福祉協議会ふれあいネットワーク

読んで学ぼう

整形外科の まめ知識8

MRIの威力

島田病院 整形外科科長 吉田 玄

皆さん、MRIという検査をご存知でしょうか。磁気共鳴映像法(Magnetic Resonance Imaging)の頭文字をとったものでMR画像と呼ばれることもあります。レントゲン検査やCTスキャンと違って、放射線検査ではなくて強力な磁石を使った検査です。十数年前から日本にも普及し、整形外科疾患のみならずいろいろな疾患に対して、有用な情報を提供してくれます。この検査の最大の長所は、痛みを伴わないことと、骨はもとより骨以外の組織の内部まで詳細に示してくれることです。

例えば、腰や首のヘルニアの場合、以前は入院をしていただいたのちに、腰から針を刺して造影剤を注入する「脊髄造影」という検査が行われていましたが、造影剤によるアレルギーや頭痛といった副作用が出る事がありました。MRIができてから、外来でも簡単に検査ができる、脊髄造影は手術をする方にしか行われなくなってきた。また繰り返し検査が行えるため、腰のヘルニアに関しては時間とともに小さくなることもあるということがわかつきました。

膝も同様に、関節内に造影剤を注射して、靭帯損傷や半月板損傷を診断していましたが、MRIを用いると半月板内部の異常や軟骨の損傷、靭帯損傷の場所や程度がわかります。また、レントゲン検査ではわからない骨の内部の損傷も映し出され「骨挫傷」と呼ばれています。

肩関節でも威力を発揮します。肩の筋肉の一部が破れる「腱板損傷」や脱臼を繰り返す場合の「関節唇損傷」などが診断でき、造影検査の前にまずMRI検査を行うようになっています。肘の靭帯損傷や、野球肘などでもレントゲン撮影ではわからない情報が得られます。

そのほか、筋肉の損傷、レントゲンではわからない骨の細かいヒビ、骨折などもMRIで診断がつくことがあります。

しかし、こんなにすばらしいMRIも魔法の検査ではありません。いきなり「MRIをとってほしい」と言って来院

される方もおられます。MRIをとればすべてがわかるわけではありません。本来あるべき病変が写っていないかったり、症状に関係ないものが写っていたりすることもあります。診察の結果とMRIの所見が合って始めて診断がつき、治療方針が決まります。

当院では8月9日より、最新の高機能MRIが稼働しました。この機械をフル活用し、皆様のお役に立てればと思っております。ぜひ一度、整形外科医師までご相談下さい。



ひざ



手首

きくぞう君への投書から

ご意見

- ①外来請求書兼領収書について、点数で表示されても一般の人にはわかりません。診察料100円、検査料100円と明細を金額表示して下さい。
- ②近ごろ話題の同じ効果で安い薬、ジェネリック医薬品を使えるようにしてほしいです。

45歳 男性

回答

- ①貴重なご意見ありがとうございます。領収書を点数で表示する病院と金額で表示する病院があります。
- 当院では、点数表示としています。償還払い等で領収書を役所に提出する際に点数が必要になる場合があるからです。
- しかし、患者さんの立場からすれば、金額表示のほうが見やすく、わかりやすいと思いますので、今後、検討していきたいと思います。

医事課主任 肥後 文浩

- ②ご意見ありがとうございます。

ジェネリック医薬品に関しては、薬の費用が安くなることから、当院でも検討のうえ、鎮痛消炎剤など数品目を採用しております。ただ、品質等に問題のある薬剤もあると言われており、どれでも処方するというわけにはまいりません。十分吟味した上で、患者様にメリットのある薬剤を選択したいと考えております。

処方を希望される場合は、担当の医師にご相談ください。よろしくお願ひいたします。

薬剤課課長 上田 篤子

「きくぞう君」はご利用者の声を業務の向上、施設改善に反映させるためのシステムです。
ご意見・ご質問など、お気軽にお寄せください。

島田病院の院内感染防止への取り組み⑭ リンクナースシステムの 具体的方法

感染管理認定看護師 森下 幸子

耐性菌防止の戦略 III (前回のつづき)

今回は、3つめのカテゴリーとして「賢く抗菌剤を使う」についてご紹介いたします。

3. 賢く抗菌剤を使う

- 根拠が不明なまま使用される事を防止するために、抗菌剤を管理する。

(1) 効果的な抗菌剤の使い方を改善する計画を立てる。

例えば「抗菌剤ガイドライン」を施設独自の物を作成し、それを徹底させようとする試みが改善につながります。当院でも、現在作成中です。

(2) 地域の細菌分布や感受性(菌に効果がある抗菌剤を調べる検査)を知る。

地域の有病率や人口密度、病院数そして入院期間は変化することを知らなければなりません。

外来患者さまの状態を知って適切に抗菌剤を選択するためには、



<参考>

ジェネリック医薬品とは?

医薬品には、同じ成分でも、先発品と後発品があります。先発品は、日本で最初に発売された薬(新薬)です。後発品は、新薬の特許が切れた後に厚生労働省の承認を得て発売される薬で、先発品にくらべ値段が安くなっています。後発品は欧米では一般名(generic name)(※成分名のこと)で処方されることが多いためにジェネリックと呼ばれています。

ジェネリック医薬品のメリットは、

- 既に有効性、安全性が確立された先発品と同じ成分の医療用医薬品を安く提供する
- 医療費の削減・抑制(社会的メリット)
- 患者様の自己負担額の軽減

ジェネリック医薬品のデメリット

- 安定供給体制に問題がある
儲からないからと、突然生産中止してしまう可能性があります。
- 先発品と比べて情報が少ない
先発医薬品と後発医薬品の添付文書の情報量には格差があると指摘されています。
薬物動態(血中濃度など)、薬効薬理、参考文献数などにおいて、先発医薬品よりも情報が少ないとの事です。
識別コードがついていないことが多い、包装から取り出してしまって何の薬であるか調べられないことがあります。
- 試験をしていないため、安全性に不安がある薬剤もある
後発品は、先発品とまったく同じ試験をして発売されているわけではなく、いくつかの試験が免除されています。

地域の人口や抗菌剤の使用状況を知っておく必要性を強調しています。

(3) 抗菌剤は、感染症に使用する事で「汚染」には使用しない。

培養検査(原因となる菌を調べる検査)の取り方に問題があれば汚染した結果が出ます。抗菌剤を使用するのは治療のみに使用するものであり、抗菌剤の使用は、この判断が重要です。培養の検査をするときにも、汚染させないようにつまり誤った検査結果を出さないために慎重に行うことと、検査結果のみに頼らず必ず患者さまの症状を見て総合的に判断する2つの注意を呼びかけています。

どうして、ここまで厳重に抗菌剤の事を言うのか?それでは、日本はどうなっているのか?と疑問が湧いてこられるのではないでしょうか。それは、米国は日本に比べ耐性菌の検出率がとても高く深刻な問題になっているからです。それなら、今のうちに私たちが適切に抗菌剤を使用していれば日本の国民は救われるのではと私は思っています。

●次回は、「統 賢く抗菌剤を使う」を紹介します。

はあとto ハート

インフォメーション

第11回 スポーツ選手・指導者交流会

平成16年10月23日(土) 17:00~20:30
場所 大阪全日空ホテル (大阪市北区堂島浜) ☎06-6347-1112
・3F 万葉の間(講演)・4F 平安の間(懇親会)

●特別講演

「チームメイクにおけるマネジメントとコーチング」

講師 平尾 誠二氏 [神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー]
元ラグビー日本代表監督

●「現場で使えるスポーツ栄養学」

島田病院 管理栄養士 角野 章子

●「ラグビー選手と島田病院の関わり」

島田病院 整形外科医師 松浦 健司

●懇親会 参加費 一般 3,000円 学生 2,000円

資料・懇親会飲食代含む(当日受付にお支払いください)

※詳細については、ホームページ <http://www.heartful-health.or.jp> をご覧ください。

参加申し込み・お問い合わせ――

第11回スポーツ選手・指導者交流会事務局(医療法人 永広会 島田病院内はびきのヴィゴラス)

TEL/FAX 0729-53-1007

<使 命>

良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

第15回 日本臨床スポーツ医学会学術集会

平成16年10月30日(土)・31日(日)

場所 グランキューブ大阪 ☎06-4803-5555
(大阪国際会議場/大阪市北区中之島)

●コメディカルシンポジウム

31日(日) 10:30~12:10

「現場におけるスポーツ専門職の役割
――メディカルスタッフの連携――」

座長 順天堂大学スポーツ健康科学部教授 桜庭 景植氏
医療法人永広会理事長・島田病院院長 島田 永和

※詳細については、第15回日本臨床スポーツ医学会学術集会
ホームページ <http://www.rinspo15.umin.jp> をご覧ください。

お問い合わせ――

学術集会登録事務局(ヒズ・ブレイン内)

☎052-836-3511

日 時

テ ー マ

講 師

第3回整形外科地域機能連携をすすめる会

会場/LICはびきの(大阪府羽曳野市轟里)
費用/無料

☎0729-53-1001
(内線104) 島田病院 地域連携課

10月16日(土)

「MRIを用いた整形外科疾患の診断」

15:30~

「当院での足部疾患外傷の手術経験」

・地域の整形外科診療に関するディスカッション等

※(参加対象)整形外科医をはじめとした医療従事者

島田病院

整形外科医師 吉田 玄

城山病院

整形外科医師 熊野 穂積

整形外科医師 佐竹 信爾

理学療法士 元石 光裕

島田病院 公開講座

会場/老人保健施設悠久亭
地下1階職員食堂

主催/島田病院 外来事業部

費用/無料

☎0729-52-1590
(受付:平日の9:00~17:00)

11月20日(土)

「変形性股関節症のリハビリテーション」

15:00~16:30

八尾はあとふる病院

会場/八尾はあとふる病院4階会議室

☎0729-99-0725

11月20日(土)

14:00~15:00

<家族介護者教室>

「食欲の秋! バランスよく食事を摂ろう。」

管理栄養士



はあとふるグループ

●医療法人(財団)永広会

島田病院 Tel.0729-53-1001

Eudynamics はびきのヴィゴラス Tel.0729-53-1007

介護老人保健施設 悠々亭 Tel.0729-53-1002

在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.0729-53-1003

ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.0729-53-1062

介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.0729-53-5514

訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.0729-53-1004

〒583-0875 大阪府羽曳野市桙山100-1

八尾はあとふる病院 Tel.0729-99-0725

介護サービスセンター はあとふる Tel.0729-99-8126

〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

●社会福祉法人 はあとふる

高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-31-1616

〒583-0875 大阪府羽曳野市桙山96-10